

体験活動参加型＋講演会型（小学校）

学 校 名 等	揖斐川町立揖斐小学校
実 施 日 時	平成28年6月22日（水） 10:30～11:30
会 場	揖斐小学校体育館（武道場）
参 加 人 数	42名
学習課題（分野）	救急法講習会（緊急時の対応・危機管理）
運営者の願い	心肺蘇生法、AEDの使用法を知っていることで、身近で起きた緊急時に、大切な命を救うことができる。「この手で救おう、大切な命」をテーマに、心肺蘇生とAEDの使用法を知り、いざというときに役立てることができるようにしてほしい。

学 習 の 内 容

<講師>

- ・揖斐郡消防組合 救急隊員

<活動内容>

- ・ダミーを使った心肺蘇生法（人工呼吸・心臓マッサージ）の講習
- ・AEDの使用法の講習
- ・救命救急に関わる講話（救急隊員）

<工夫したこと>

- ・できるだけ多くのダミーとAEDを準備していただき、少人数のグループを編成して、十分に体験ができるようにした。
- ・いざというときに大切な命を救うために、一刻も早く処置を施すことの大切さを話していただいた。

<効果等>

- ・救急車が到着するまでの対応が、生死を分けることになることを理解できた。
- ・全ての参加者が、十分な体験をすることができた。心肺蘇生やAEDの使用を必要とする場面に実際に遭遇したときに、実践できるものと思われる。
- ・夏休みのプール当番の際に、万が一事故が発生したときにも、職員と一緒にやって対応してもらえるため、大変心強い。

<アンケートより>

- ・心臓マッサージはできたが、人工呼吸は、なかなか上手に息を吹き込むことができなかった。何度かやるうちにうまく入るようになってきた。
- ・あつてはならないことだけど、もし、自分がそのような場面に出会ったときはがんばって今日学んだことをやってみようと思う。
- ・できることならやりたくないが、目の前にある消えかかっている命を救わなければならないときには、やっぱり勇気を出してやるべきだと思った。



1、2年生の保護者を対象に、毎年実施している。参加者全てが十分に体験できるようにすることで、きちんと身に付けることができている。また6年のうちに1または2回体験をすることで、効果を高めることができる。自覚も高まっている。